

はまな

No.591 2026年3月

静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場

〒431-0214

静岡県浜松市中央区舞阪町弁天島 5005-3

TEL 053-592-0139 FAX 053-592-0906

<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/hamanako>

e-mail: suigi-hamanako@pref.shizuoka.lg.jp

目次

2025年の浜名湖漁獲統計	… 1
浜名湖のアサリ資源を増やすために	… 3
2025年8月から続く浜名湖の潮位低下現象について	… 6
体験学習施設ウォットより	… 7
分場日誌(2025年11月~2026年2月)	… 8
弁天島の水温・比重(2025年11月~2026年2月)	… 10

2025年の浜名湖漁獲統計

山本 高宏

浜名漁業協同組合（以下「浜名漁協」といいます。）の資料を基に、2025年の浜名湖における漁獲データを集計しました。なお、2024年11月から鷲津支所のデータが新居支所に、同年12月から雄踏支所のデータが本所（舞阪）に統合されたことに伴い、一部の魚種・漁業種類の漁獲量について遠州灘のものと浜名湖内のものを区別することができなくなったため、集計方法を変更しました。

1 漁業種類別漁獲量及び漁獲金額について

集計対象とした漁業種類は、採貝、袋網、うなぎつぼ、メッコ網及びたきや漁です。例年集計していた三枚刺網と雑漁業については、前述した支所データ統合のため集計から除きました。

2025年の漁業種類別漁獲量及び漁獲金額を表1に示しました。漁獲量は袋網が突出して多く、次いでうなぎつぼ、メッコ網の順でした。漁獲金額は、メッコ網が突出して多く、次いで袋網、うなぎつぼの順でした。また、これら5つの漁業種類における漁獲金額の経年変化を図1に示しました。採貝では2014年には15億円ありましたが、その後減少を続け、2025年は5百万円台でした。なお、2025年はアサリ水揚げが無かったため、ハマグリのみの実績となります。

一方、メッコ網は2014年から2023年にかけては2～6億円の範囲で推移し、2024年に大きく増加して10億円に達した後、2025年には3.9億円まで減少しました。それ以外の袋網は緩やかな減少傾向、うなぎつぼ及びたきや漁はほぼ横ばいで推移しています。

2 魚種別漁獲量について

2025年の魚種別月別漁獲量並びに年間漁獲量の前年値及び平年値（2015年から2024年までの10年間の平均値）との比較を表2に示しました。ヒラメ・カレイ類、コチ、キビレ、クロダイ、スズキ、雑魚、カニ、雑カニの8魚種は、前述した支所データの統合のため、今回の集計から除きました。また、アサリを除く2025年の漁獲量が10kg以下のマイワシ、サバ、アナゴ、サヨリ、マアジ、カワハギも集計から除きました。

2025年の漁獲量はシラスウナギが前年の約2倍に増加しました。また、カンパチの漁獲量が2024年の53倍に増加しており、2025年は特異的に浜名湖へ入り漁獲されたと考えられます。一方、ウナギやノコギリガザミといった湖内漁業の重要魚種は前年よりも減少しており、特にアサリの漁獲量はありませんでした。

2025年の漁獲量の対前年比及び対平年比を、ハマグリを除く20魚種について分類しました（表3）。対前年比、対平年比ともに「増」であったのはシラスウナギ、対前年比が「増」で対平年比が「並」であったのはボラ、カンパチ、対前年比が「増」で対平年比が「減」であったのはハゼ（マハゼ）、アイゴ、クルマエビ、イカ類、対前年比が「並」で対平年比が「減」であったのは雑エビ、タコ、対前年比、対平年比ともに「減」であったのはコノシロ、ウナギ、カマス、キス、クマエビ、ノコギリガザミ、アサリでした。

このことより、コノシロ、ウナギ、カマス、キス、クマエビ、ノコギリガザミ、アサリの漁獲量は減少傾向にあることが分かります。漁獲量の増減は、天然の資源を利用している以上、起こり得ることでありますが、対前年比、対平年比ともに減少傾向にある魚種については注意深くみていく必要があります。

表1 2025年の漁業種類別漁獲量及び漁獲金額

漁業種類	漁獲量(kg)	漁獲金額(万円)	備考
採貝(アサリ・ハマグリ)	435	575	2025年はアサリの漁獲量が無し
袋網	40,647	7,479	
メッコ網	832	38,868	
うなぎつぼ	2,225	1,507	
たきや	418	181	

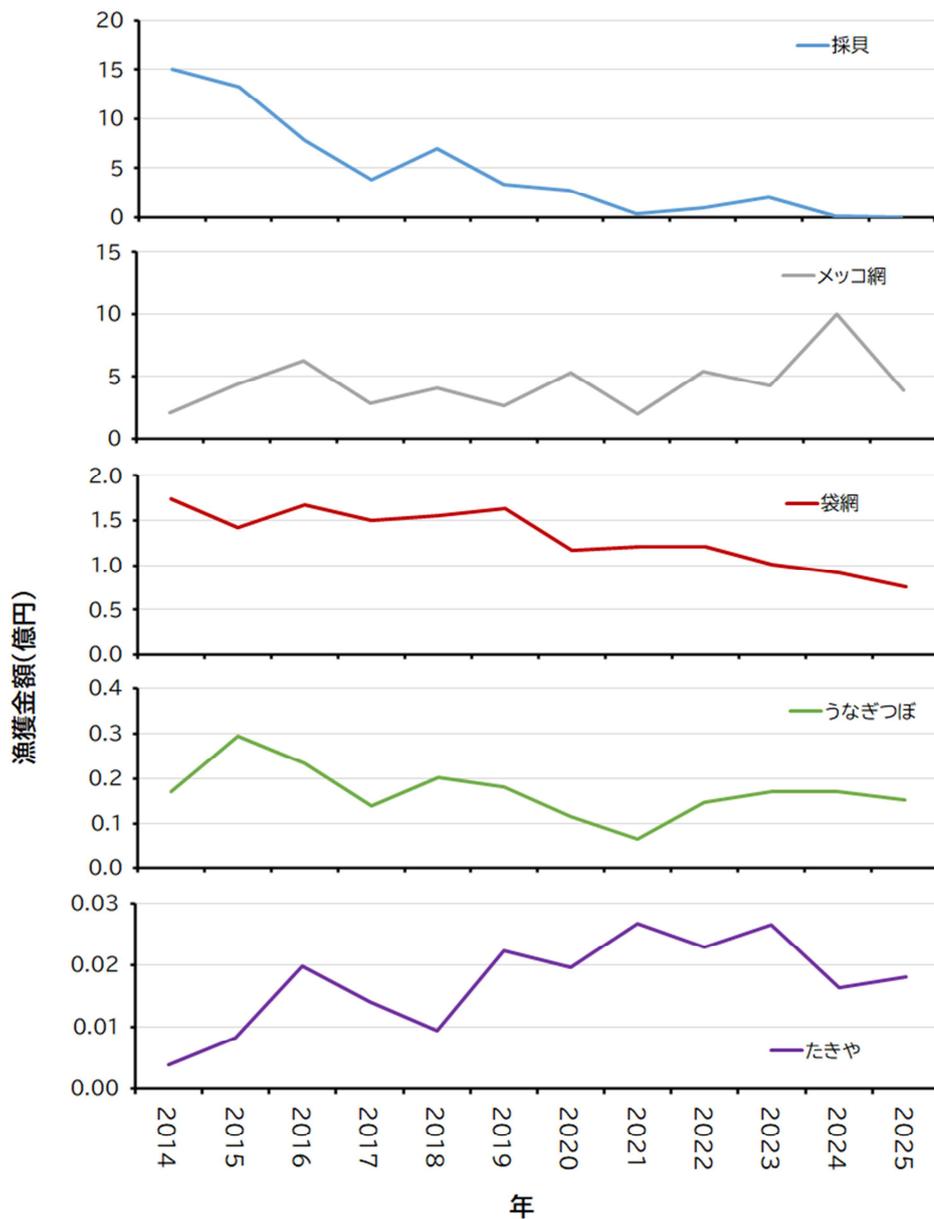


図1 採貝、メッコ網、袋網、うなぎつぼ及びたきや漁の漁獲金額の経年変化
(採貝は2022年からアサリとハマグリ合計値)

表2 2025年浜名湖における主要魚種の魚種別、月別漁獲量(kg)

魚種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年(2024年)	2025年-2024年	2025年/2024年	平年値*	2025年/平年	2023-2025の平均
コノシロ	8	0	16	492	258	432	619	340	195	224	306	214	3,103	4,326	▲1,223	0.72	10,868	0.29	3,826
ウナギ	33	0	0	157	414	561	569	494	598	227	420	266	3,738	6,022	▲2,284	0.62	7,867	0.48	5,393
シラスウナギ	215	214	388	10	-	-	-	-	-	-	-	5	832	407	425	2.05	444	1.87	490
ボラ	39	262	177	150	113	56	59	46	78	129	61	54	1,225	972	253	1.26	1,208	1.01	1,032
カマス	0	0	0	0	0	2	6	33	56	18	3	0	118	195	▲77	0.60	764	0.15	299
カンパチ	4	0	0	0	0	0	0	140	185	40	2	0	372	7	365	53.17	373	1.00	153
キス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	22	8	42	497	▲455	0.08	243	0.17	194
ハゼ(マハゼ)	56	0	0	40	11	402	281	267	310	66	263	461	2,156	1,182	974	1.82	3,976	0.54	1,717
アイゴ	0	0	0	4	100	101	96	184	77	93	26	0	680	527	153	1.29	1,257	0.54	651
クルマエビ	0	0	0	13	264	494	735	141	4	2	1	0	1,654	709	945	2.33	2,613	0.63	1,380
クマエビ	0	0	0	0	0	0	0	144	85	13	0	0	242	1,394	▲1,152	0.17	2,682	0.09	1,202
ノコギリガザミ	31	6	13	141	79	74	24	547	767	720	1,760	808	4,970	6,676	▲1,706	0.74	5,780	0.86	6,063
雑エビ	0	0	0	0	10	445	653	382	373	161	20	1	2,044	2,252	▲208	0.91	4,861	0.42	2,395
イカ類	0	0	0	33	128	248	311	360	86	8	12	1	1,187	930	257	1.28	2,013	0.59	923
タコ	0	0	0	0	0	20	114	32	6	25	47	74	318	300	18	1.06	3,085	0.10	220
ハマグリ	-	2,138	3,318	-	-	3,652	2,304	-	-	-	-	-	11,413	12,449	▲1,036	0.92	-	-	-
アサリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	180	-	-	1,034.207	-	181.447
シラスウナギ、ハマグリについては、禁漁期の漁獲量を「-」としている。																			
																	*平年値:2014年～2024年の平均値		

表3 浜名湖におけるハマグリを除く16魚種の2025年の対前年比及び対平年比の増減

対前年比		対平年比		
		増	並	減
対前年比	増	シラスウナギ	ボラ、カンパチ	ハゼ(マハゼ)、アイゴ、クルマエビ、イカ類
	並			雑エビ、タコ
	減			コノシロ、ウナギ、カマス、キス、クマエビ、アサリ、ノコギリガザミ

対前年比は短期的な変化、対平年比は長期的な変化を表しています。対前年比、及び対平年比が「増」である(表の上側及び左側に向かう)ほど資源状況は良く、「減」である(表の下側及び左側に向かう)ほど資源状況は悪いと言えます。

浜名湖のアサリ資源を増やすために

上原 陽平

浜名湖のアサリ採貝漁業は、2024年の漁獲量が0.18トンと過去最低を記録し、漁業の存続が危ぶまれています(図1)。当分場では2025年から新成長戦略研究の一環として、浜名湖の付属湖である庄内湖でアサリの資源を増加させる研究を開始しました。この研究では湖内でアサリを保護しながら、産卵させることでアサリ資源の回復を図ることを目指しています。今回はその前段階である、アサリの育成や産卵に適した場所(飼育適地)を把握する試験の結果の一部を紹介します。

浜名湖ではクロダイによるアサリの食害が深刻な問題となっているため、食害を防除する網カゴの試験区を8月に庄内湖の2か所(A区、B区)へ設置し、湖内で採集した稚貝100個体と試験区付近の砂を収容しました(図2)。そして、適地を判定する要素として①成長、②肥満度(成熟の指標)、③生残率を月1回の頻度で調査し、その結果から飼育適地の可否を判定しました。

【成長】平均殻長の推移を図3に示しました。ご覧のとおり、A区の方が成長がよいことがわかりました。

なお、アサリは殻長 35mm 位までは産卵量が右肩上がりに増加するため、成長がよい試験区を適地と判断しています。

【肥満度】肥満度の推移を図 4 に示しました。こちらも A 区の方が高いことがわかりました。肥満度がおよそ 15 以上で成熟することから、A 区では 9～10 月に成熟し、10～11 月に産卵に伴い肥満度が低下したと考えられます。一方、B 区では肥満度が 15 以上とならなかったため、成熟しなかったと考えられます。

【生残率】生残率の推移を図 5 に示しました。B 区の方が若干生残率が高いですが、両区に大きな差は見られませんでした。

これらの結果から、A 区は飼育適地の 1 つであることがわかりました。来年度も引き続き、同様の試験を他の場所で行い、飼育適地の把握を行うとともに、適地でアサリを飼育し産卵させる試験を行います。

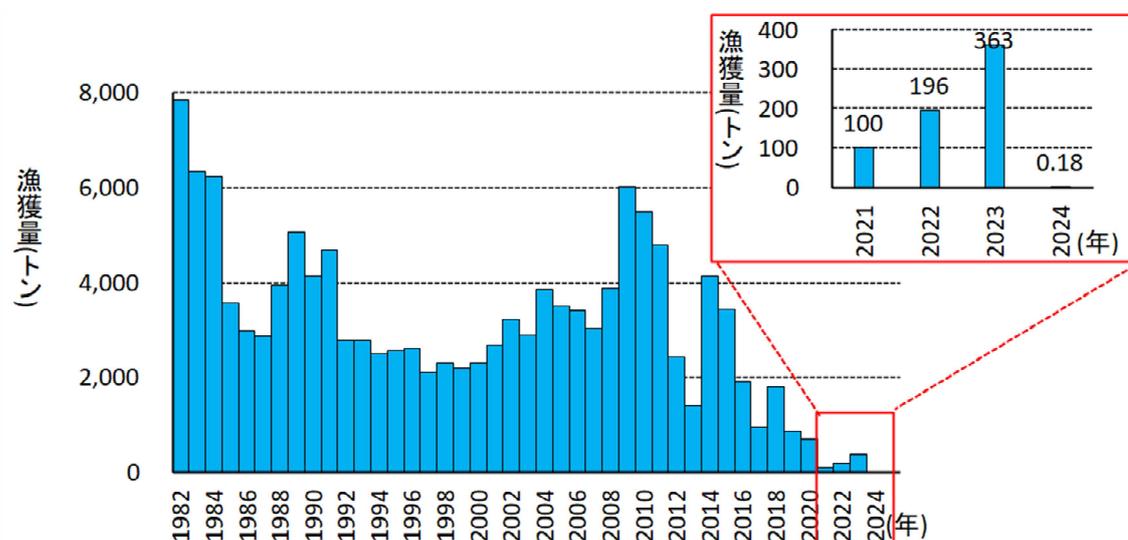


図1 浜名湖のアサリ年間漁獲量の推移

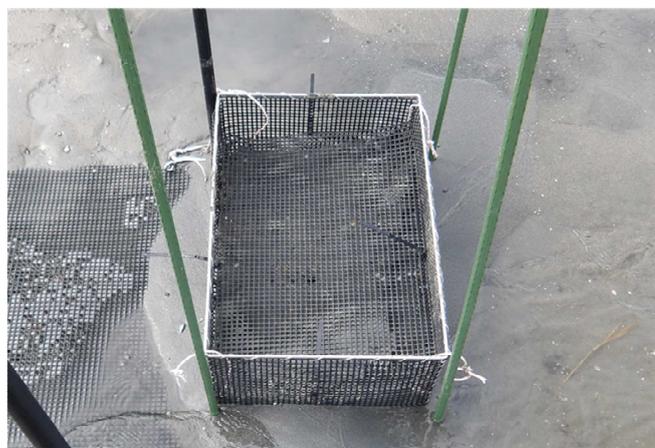


図2 アサリを收容した網カゴ

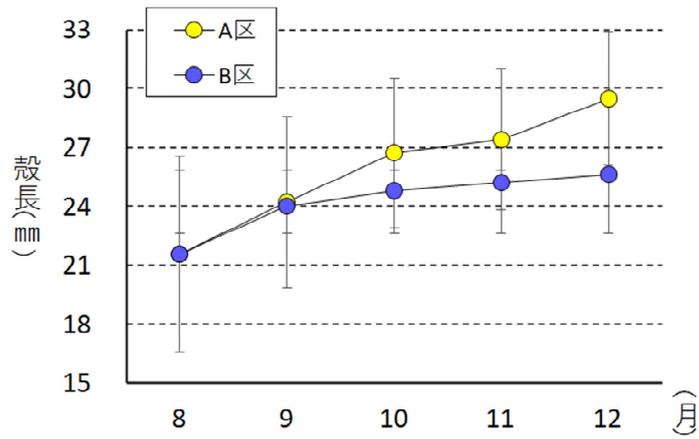


図3 試験区の平均殻長の推移(エラーバーは標準偏差を示す)

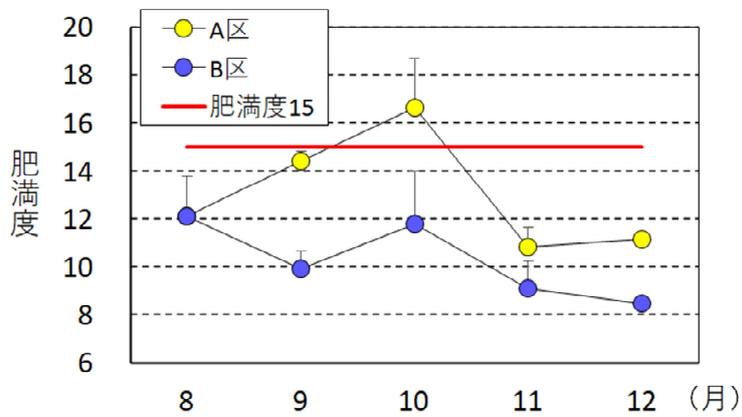


図4 試験区の肥満度の推移(エラーバーは標準偏差を示す)

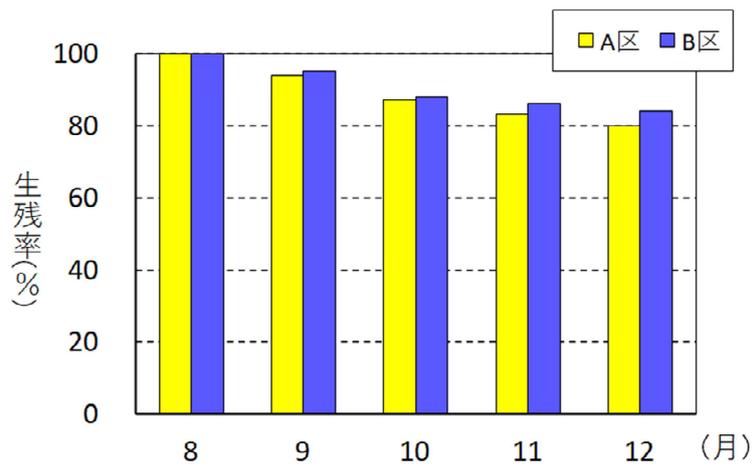


図5 試験区の生残率の推移

2025年8月から続く浜名湖の潮位低下現象について

鈴木 朋和

2025年の秋に、湖内のノリ養殖業者から「実際の潮位と予測の値が大きく異なるためノリ網の高さの調整が難しい」との話がありました。また、私自身も2024年秋と比べて干潮時に潮が大きく引いているとの印象を持っていたことから、舞阪の潮位偏差を調べてみました。

潮位偏差とは、実際に観測された潮位と予測値の差のことで、気象庁のウェブサイトで、毎時の潮位偏差のデータが公開されています (<https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/tide/genbo/index.php>)。このデータを用いて、2023年1月から2026年2月までの舞阪における月平均の潮位偏差の推移をまとめました (図1)。

その結果、2025年7月まで多少の変動があるものの、全体的にプラスの偏差 (予測より実測潮位が高い) でしたが、8月以降はマイナスの偏差 (予測より実測潮位が低い) の状況が継続しています。2025年8月以降の偏差の大きさは平均で -13.6cm ($-9\sim-19\text{cm}$) とかなり大きく、ノリ養殖業者の声を裏付ける結果でした。

これが浜名湖だけの現象なのか確認するため、2025年7月から9月までの石廊崎、御前崎、舞阪、赤羽根、尾鷲における日平均の潮位偏差の推移をみたところ (図2)、各地点とも8月4日から13日にかけて潮位偏差が顕著に低下しており、その後も各地点とも同じように変動しながらマイナスの偏差で推移しています。このように、潮位偏差の低下は浜名湖だけではなく周辺海域でも同様に発生した現象でした。

潮位の変動には、海流、風や波浪の他にも様々な原因があります。今回の潮位偏差の低下の原因については不明ですが、周辺海域で同時に発生し、7か月も継続していることから、太平洋に面した広い範囲の海況に関係した現象であると思われます。浜名湖内の大きな潮位変化はノリやカキの養殖に直接影響しますので、当面の間は注意が必要です。

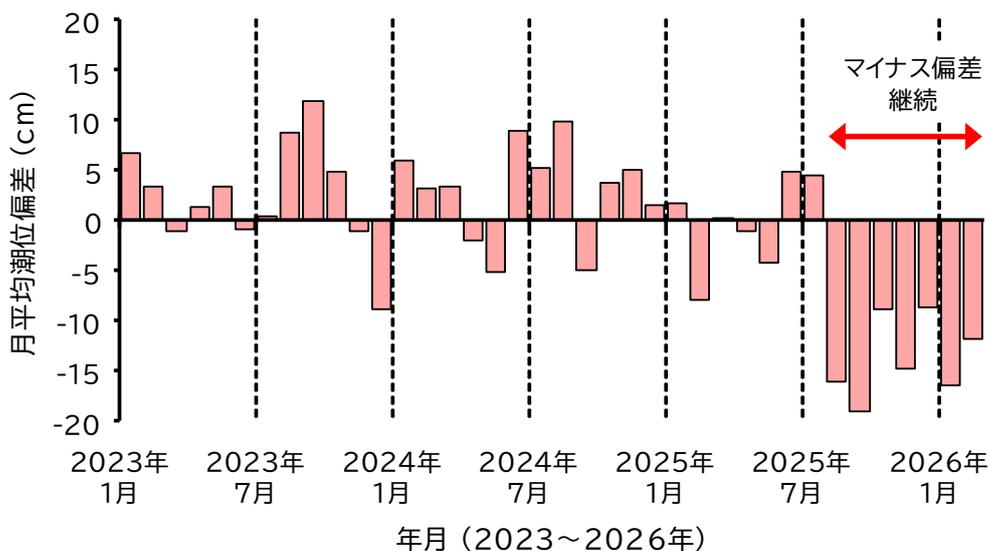


図1 舞阪における月平均潮位偏差の推移(2023年1月~2026年2月)

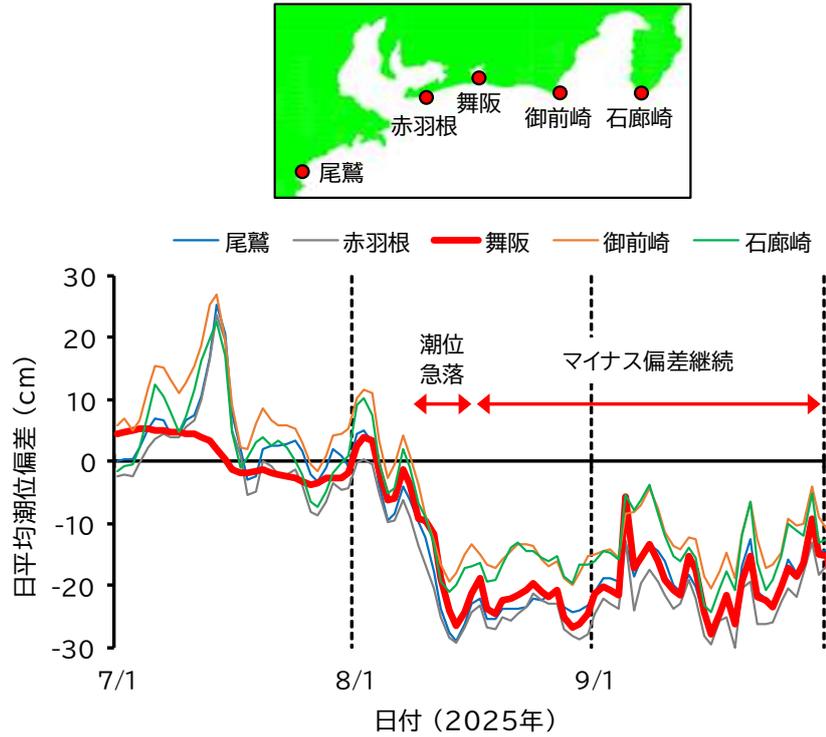


図2 潮位観測地点の位置(上)と各観測地点の日平均潮位偏差の推移(2025年7月~9月)(下)

体験学習施設ウオットより

★企画展「うなぎじゃないっ!展」を開催しました★

浜名湖体験学習施設ウオットでは、1月10日から2月23日の期間にて企画展「うなぎじゃないっ!展」を開催しました。

本企画展では名前に「ウナギ」と付きますが、分類学上ではウナギではない生き物たちを紹介。分類学上での「ウナギ」の代表としてニホンウナギやバイカラウナギ、オオウナギを展示し、「ウナギじゃない」生き物としてアミメウナギやタウナギ、クロヌタウナギ等を生体展示しました。

他にも当企画の会期中特別イベントとして企画エリアの解説板からキーワードを見つける「キーワードラリー」や、日・祝限定で中庭にて「ウナギのタッチプール」を開催しました。ニホンウナギの色彩変異個体「パンダウナギ」と触れ合ってもらい、その希少性や感触の面白さからご好評をいただきました。

The poster for the exhibition 'うなぎじゃないっ!展' (It's not an eel exhibition) features a vibrant, colorful design with illustrations of various eel species. The main title is written in large, bold, stylized Japanese characters. Below the title, it specifies the dates '1/10(土)~2/23(月・祝)' and the location '浜名湖ウオット'. The poster also includes a list of activities: 1. Keyword Labyrinth (keyword search), 2. Eel Quiz (multiple choice), and 3. Eel Touch Pool. Ticket information is provided: '入館料大人320円 高校生以下無料'. The poster also mentions '近隣環境学習施設 ウオット' and '浜名湖ウオット 各の特別企画展'.

うなぎじゃないっ!展チラシ



ウナギのタッチプールイベントの様子

※本コーナーに関するお申込み・お問い合わせは、ウォット（TEL：053-592-2880）をお願いします。

（ウォット飼育員 狩野 厚志）

分場日誌（2025年11月～2026年2月）

【11月】

- 5日 定点観測
- 10日 養殖衛生管理技術者研修本科専門コース・市川主任（web 11/17まで）
- 11日 有害プランクトン監視調査
- 12日 貝毒検査
- 13日 新成長戦略研究現地指導
- 18日 魚類防疫士試験・市川主任（東京）
- 19日 有害プランクトン監視調査
有害プランクトン同定研修会・市川主任（広島 11/21まで）
- 20日 普及月例会・浜松市中央卸売市場視察
- 26日 貝毒検査
- 27日 海域栽培推進協議会全国連絡会議（web）
浜名湖発「ニホンウナギ資源回復プロジェクト」2025親うなぎ放流
- 28日 都道府県栽培漁業担当者会議（web）
しずおか農林水産物認証定期監査（伸東養魚）

【12月】

- 1日 有害プランクトン監視調査
- 2日 漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮・貝毒部会（広島 12/3まで）
- 8日 浜名湖発「ニホンウナギ資源回復プロジェクト」2025親うなぎ放流

- 9日 定点観測
トラフグ全国協議会（横浜）
- 10日 貝毒検査
魚病症例研究会及び魚病部会（三重 12/11まで）
- 14日 うなぎの街フェスティバル視察
- 18日 水産分野における薬剤耐性に関する技術研修会・山本研究員（東京 12/19まで）
普及月例会
- 19日 水産防疫にかかる説明会（web）
- 22日 静岡県漁業士会役員会
- 24日 貝毒検査
あさり勉強会（東京）

【1月】

- 7日 定点観測
貝毒検査
- 20日 しずおか農林水産物認証定期監査（浜名湖養魚漁協 1/21まで）
- 21日 貝毒検査
- 22日 普及月例会
- 23日 魚病講習会（静岡うなぎ漁協）
- 29日 水産振興審議会（web）
- 30日 国際水産資源調査・評価推進事業ウナギユニット 推進検討会・課題成果検討会（東京）

【2月】

- 3日 定点観測
- 4日 貝毒検査
- 6日 移動知事室
静岡県漁業士会総会
日本学会シンポジウム（web）
- 12日 資源回復のための種苗育成・放流手法検討事業ウナギ課題成果報告会（横浜）
- 17日 アユの疾病研究部会（山梨 2/18まで）
- 18日 貝毒検査
新成長戦略研究中間評価会（web）
- 25日 普及成果報告会
- 27日 ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実用化事業第2回検討委員会（web）

弁天島の水溫・比重（2025年11月～2026年2月）

月		2025年-2026年		平年※	
		水溫	比重(σ15)	水溫	比重(σ15)
11月	上旬	19.8	26.6	20.4	24.6
	中旬	17.3	25.5	19.6	25.2
	下旬	17.4	26.5	18.1	25.4
	平均	18.0	26.1	19.4	25.1
12月	上旬	16.1	26.7	16.4	25.5
	中旬	14.6	26.7	15.7	26.1
	下旬	16.9	26.9	13.9	26.1
	平均	15.8	26.7	15.4	25.9
1月	上旬	12.2	26.7	13.2	26.4
	中旬	12.4	26.6	13.7	26.7
	下旬	10.6	26.6	14.0	26.9
	平均	11.6	26.6	13.7	26.7
2月	上旬	11.8	27.0	13.7	26.8
	中旬	12.3	26.8	13.7	26.8
	下旬	14.9	26.5	13.6	26.8
	平均	12.7	26.8	13.7	26.8

※ 過去10年平均

関連情報をQRコードから確認できます

浜名湖分場	広報誌「はまな」	ウォット	関東・東海海況速報
			